

算数

第4学年

育成を目指す資質・能力

【豊かな表現力】【回復力・耐える力】【郷土を担う使命感】

## 「面積」 ～町内の学校のグラウンドや校舎の広さを比べよう～

### 【単元の概要】

町内の5・6年生が行う「陸上記録会」の会場選びから「広さ比べをしよう」という課題を設定し、解決方法を考えていく。実際に測ることができないことから、「一辺を1cmのいくつつ」に置き換えて考えさせ、「1cm<sup>2</sup>」という単位を用いて考えることよさを実感させる。その後、日常生活の中で使えるかを様々な場を設定し試す。活用問題を「校舎の床を塗るためのワックスの量調べ」とし、協働の学びの場とする。

### ◆単元の目標

長方形や正方形の面積を表すことに関心を持ち、求積の方法を考えることができるとともに、身の回りにある図形の面積を工夫して求めることができる。

### ◆単元の計画（全8時間）

#### 【課題の設定（1時間）】

・町内の5・6年生が行う「陸上記録会」の会場として、広い場所を使いたいが、どこの小学校のグラウンドが一番広いのかが分からない。そこで、東野小、大崎小、木江小のグラウンドの広さを比べるための方法について考える。

#### 【情報の収集、整理・分析（3時間）】

・方眼紙上にかかれた縮小した形の東野小と大崎小、木江小のグラウンドの面積を比べる。  
・面積の単位（cm<sup>2</sup>）を知り、1cm<sup>2</sup>を単位にして面積を求める。  
・長方形（木江小グラウンド）と、正方形（東野小グラウンド）の面積を求める公式を、1cm<sup>2</sup>の正方形が何個並ぶかを基に考える。その公式を使って、色々な形の面積を求める。  
・面積の単位m<sup>2</sup>を知り、複合図形の面積（東野小の校舎と大崎上島中学校の校舎の面積）の求め方を考え、説明する。

#### 【まとめ・表現（0.5時間）】

・m<sup>2</sup>を単位にして3つの小学校のグラウンドの面積を求め、陸上記録会の会場を決める。

#### 【課題の設定（0.5時間）】

・もっと広い面積（大崎上島や他の瀬戸内海の島など）を求めるためにはどうしたらよいかという課題をもつ。

#### 【情報の収集、整理・分析（2時間）】

・m<sup>2</sup>とcm<sup>2</sup>の単位間の相互の関係を理解する。  
・長さの単位が異なる場合、長さの単位をそろえる方法を考える。  
・m<sup>2</sup>とa, ha, km<sup>2</sup>の単位間の関係を理解する。

#### 【実行、振り返り（1時間）】

・活用問題に取り組むとともに、本単元の学習内容の確認と評価をする。

## その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざん1」
	1	「ひきざん2」
	2	「かくれた数はいくつ」
	4	「折れ線グラフ」
	5	「単位量あたりの大きさ」
総合的な学習の時間	5	「知らせよう！東野の産業のみりよく①」
	5	「知らせよう！東野の産業のみりよく②」
	6	「つなげよう東野の伝統文化」